

ゲームを体験 ひびきのケアを実感

デイサービス響で家族会・懇親会が開催されました



デイサービス響の家族会・懇親会がこのほど、当センターで開催されました。この家族会は、ひびきのケアについて理解を深めてもらうのと同時に、普段あまり接する機会のないご家族同士の懇親を深めてもらうことを目的に毎年、開催しています。今年で 12 回目となった家族会には、自宅で介護されている方々 25 名の方が参加されました。

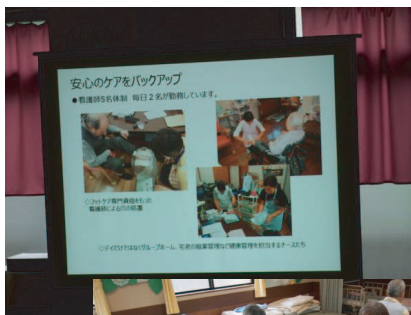
家族会では、スタッフの自己紹介の後、参加されたご家族お一人ずつがご利用者の自宅での様子やひびきに通り始めてからの変化などを話してくださいました。このあと、デイサービスでの一日のプログラムの流れや、三大介護である「食事」「排泄」「入浴」について、施設の特徴やケアの在り方をスライドを通して説明しました。また、作業レクや運動レクなどに参加するご利用者の表情をスナップ写真で紹介。参加された方々に、一日のプログラムの中で生き生きと過ごす本人の表情を見ていただきました。

白熱のパタパタゲーム

「思わず夢中になっちゃいました」 ご家族みなさんが「楽しい」に納得

このあと、ご利用者たちの笑顔の理由を実際に体験してもらうため、参加されたご家族のみなさんに、遊びリテーションの一つ「パタパタゲーム」を体験してもらいました。このゲームは、うちわでビニール袋をおおぐだけの単純なゲームですが、参加されたご家族の方たちは、「思わず本気になった」と夢中でゲームを楽しめました。

ランチタイムでは、普段、ご利用者が召し上がっている昼食をバイキング形式で試食してもらいました。スタッフも一緒に昼食をとりながら、ご自宅での様子やお互いの悩みなどを話し合うなど、交流の和を広げました。



家族会への参加、アンケートへのご協力 ありがとうございました。

家族会では参加された方々にアンケートに答えていただきました。「笑顔で帰ってくる理由がわかりました」「きめ細かいケアに納得しました」などの意見が寄せられました。ご協力いただきましたみなさまに改めてお礼申し上げます。

試食ランチに「おいしい」

ご家族二十五名が参加 スタッフとの懇親の輪

ひびき通信

平成 30 年
7 月版

避難経路や防火扉など消防設備を確認

多摩消防署による消防設備の点検がこのほど行われました。多摩消防署からは二名の隊員が訪れ、センター長の立会いのもと、スプリンクラー設備や火災検知器、自

動火災通報システムなどの機械設備の作動をはじめ、防火扉の開閉や避難経路の点検が行われました。査察の結果、特に問題のないことが確認されました。